

令和3年度「新美祢市病院改革プラン」点検・評価報告書

1 令和3年度美祢市病院事業報告

(1) 患者数

ア 市立2病院全体

市立2病院全体の延入院患者数は5万8,601人で、前年度に比し8,856人の減となった。減少理由は、昨年度に引き続き、病床の一部を新型コロナウイルス感染症感染患者受入のための病床としたこと等によると考えている。

また、延外来患者数は6万3,887人で、前年度に比し1,380人の増となった。増加理由は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、発熱外来患者が増え、行動制限が緩和されたことに伴い、患者の受診が増えたものと考えている。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は3万2,259人で前年度に比し6,335人の減、1日平均入院患者数は88.4人で前年度に比し17.3人の減となった。延外来患者数は、3万7,445人で前年度に比し1,256人の増、1日平均外来患者数は150.7人で前年度に比し5.8人の増となった。

なお、病床利用率は、64.0%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万8,288円、外来1万1,335円となった。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は2万6,342人で前年度に比し2,521人の減、1日平均入院患者数は72.2人で前年度に比し6.9人の減となった。延外来患者数は、2万6,442人で前年度に比し124人の増、1日平均外来患者数は109.3人で前年度に比し1.0人の増となった。

なお、病床利用率は72.2%となり、患者1人当たりの収益は、入院2万6,493円、外来7,402円となった。

(2) 収益的収支

ア 市立2病院全体

令和3年度の市立2病院事業の収益的収支は、総収入35億2,657万5,991円、総支出35億5万2,852円を計上し、差し引き2,652万3,139円の純利益となった。

その結果、この純利益に前年度未処理欠損金の7億1,767万6,931円を加え、6億9,115万3,792円の未処理欠損金となった。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入19億2,408万9,557円、総支出20億8,694万9,712円で、差し引き1億6,286万155円の純損失となった。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入16億248万6,434円、総支出14億1,310万

3,140円で、差し引き1億8,938万3,294円の純利益となった。

2 令和3年度における各種経営指標の数値目標と達成度

○美祢市立病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R3 目標	R3 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
① 入院患者数（1日当たり）					
一般	人	73.4	51.0	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
療養	人	45.8	37.4	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
② 外来患者数（1日当たり）	人	166.9	150.7	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
③ 救急受入件数（年間）	件	700	655	△	
④ 紹介率	%	50.0	41.8	×	患者転院等の鈍化
⑤ 逆紹介率	%	30.0	33.6	○	
⑥ リハビリ件数（年間）	件	22,000	17,325	×	対象入院患者の減少
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]					
① 職員給与対医業収益比率	%	65.8	84.3	×	医業収益の目標未達、委託業務の見直しによる
② 材料費対医業収益比率	%	15.0	15.7	△	医業収益の目標未達、手術件数の増加及び感染対策材料購入の増
③ 委託料対医業収益比率	%	14.0	11.3	○	委託業務見直しのため
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
① 経常収支比率	%	100.8	92.2	△	医業収益の目標未達による
② 医業収支比率	%	92.8	78.2	×	医業収益の目標未達による
③ 資金収支（単年度）	百万円	30	△139	×	医業収益の目標未達による

○美祢市立美東病院

	経営指標の数値目標と達成度				
	単位	R3 目標	R3 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
① 入院患者数（1日当たり）					
一般	人	50.2	39.8	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
療養	人	37.5	32.4	×	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保による減少
② 外来患者数（1日当たり）	人	120.0	109.3	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大による患者数の減少
③ 救急受入件数（年間）	件	950	580	×	休日当番医制から外れたため
④ 紹介率	%	65.0	45.5	×	患者転院等の鈍化
⑤ 逆紹介率	%	45.0	40.6	△	かかりつけ患者数の増加
⑥ リハビリ件数（年間）	件	17,500	21,197	○	外来リハの増加
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]					
① 職員給与対医業収益比率	%	76.0	85.7	×	医業収益の目標未達、委託業務の見直しによる
② 材料費対医業収益比率	%	10.0	10.3	△	医業収益の目標未達、感染対策材料購入の増
③ 委託料対医業収益比率	%	17.0	12.3	○	委託業務見直しのため
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
① 経常収支比率	%	102.6	113.4	○	
② 医業収支比率	%	83.4	78.0	△	医業収益の目標未達による
③ 資金収支（単年度）	百万円	16	152	○	

3 評価と経営改善に向けた取組み

(1) 評価

- 市立2病院における経営上の大きな問題は、「資金の減少」である。これを防ぐためには、市立病院にあっては、いかに収益的収支を均衡に近づけるかがポイントとなる。

令和2年度においては、収益的収支が約4,700万円の赤字まで圧縮できたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年間を通じて、新型コロナウイルス感染症感染患者受入のため、看護配置の変更をせざるを得なくなり、断続的に入院の抑制を強いられたため、入院患者数が減少することで、入院収益が減少し、1億6,286万円の赤字となった。

- 美東病院においては、収益的収支において、3,000万円の黒字化を図ることが、資金流出を防ぐための目標となる。

令和3年度においては、収益的収支が約1億8,938万円の黒字となったことで、1億円以上の資金が留保された。

これは、新型コロナウイルス感染症関連補助金の受入によるものである。

- 美東病院においては、常勤医が3名、定年退職後の再任用の医師が3名となっており、医師確保が急務である。

(2) 経営改善に向けた取組み

- 令和2年3月に策定した「新美祢市病院改革プラン（全面改定版）」に基づき、取組を進めていく必要がある。
- 具体的には、周辺医療機関との紹介、逆紹介といった地域連携機能の強化や、美祢市立2病院の患者像に合致する地域包括ケア病床へのさらなる機能転換の拡大などで収益性を高め、持続的で安定した経営に引き続き取り組んでいく。
- また、新型コロナウイルス感染症収束後、変化の予想される患者の受診動向を踏まえた病院運営を図っていく。